

# 風の記憶



甲斐市立玉幡中学校  
学校だより第 1号  
令和8年4月17日  
発行 樋川 和之

令和8年度玉幡中学校のスタート!

入学・進級おめでとう!!

## 第43回入学式 始業式・新任式

新入生のみなさん、入学おめでとうございます。2、3年生のみなさん、進級おめでとうございます。いよいよ、玉幡中学校の令和8年度がスタートしました! 4月7日(火)には、新任式・始業式が行われました。新任式では、新たに本校に着任した7名の先生方をお迎えし、始業式においては、進級した2、3年生と生徒会本部の代表生徒が、本年度の抱負を発表しました。2年生代表は、「新しいことに積極的に挑戦し、胸を張って成長したといえるような1年にしたい」という、やる気に満ちた目標が発表され、3年生代表は「学校の中心という責任感をもって何事にも取り組みながら、進路のことも考え、大きく成長したい。周りを大切に作る温かい学年にし、緑学年でよかったといえる1年にしたい」という目標を、堂々と発表していました。また、生徒会代表からも、「みんなで最高といえる学校をつくっていきたい」と呼びかけがありました。

翌日の4月8日(水)には、第43回入学式を挙行しました。会場全員からの温かい拍手、校歌「風の記憶」、そして、2年生「COSMOS」、3年生「予感」の歓迎の合唱により、新入生106名を迎え入れ、全校生徒314名で令和8年度の幕開けとなりました。

始業式では、「人それぞれに花あり」という言葉のもとに、玉中生一人一人が持っている「良さ」や「可能性」について話をしました。玉中生はそれぞれが自分だけの「花」を持ち、本校には授業や部活動、学校行事など、その花を咲かせる多くの場があります。日々の学習による「智慧の花」、努力の積み重ねによる「成長の花」、そして仲間と支え合う中で育つ「友情の花」をたくさん咲かせてほしいことや、苦しいときには必ず咲く、仲間や先生、ご家庭の支え「希望の花」の中で、前に進んでほしいと伝えました。

保護者のみなさま、お子様のご入学、ご進級、誠にありがとうございます。心よりお祝い申し上げます。本年度も「ふるさとを愛し、高い知性と豊かな情操、たくましい意志と創造的な個性をもつ 心身ともに健全な生徒の育成」を目標に、教職員一同、「チーム玉中」として力を合わせ、生徒一人一人の豊かな成長に向けて、全力で教育を推進して参ります。教育は、学



校だけでは成り立ちません。学校とご家庭、地域の方々にも、ご協力いただきながら、共に育て合うこと、共に助け合うことが、大切だと考えております。どうか、ご支援ご協力をよろしくお願いいたします。また、心配なこと等ございましたら、学校へご相談ください。

## 「」 よろしくお願ひします 令和 8 年度教職員 「」

1年			2年			3年		
主任		家	主任		社	主任		国
副主任		英	副主任		理	副主任		社
1組担任		体	1組担任		音	1組担任		英
2組担任		同	2組担任		数	2組担任		数
3組担任								理
すこやか1								保
すこやか2								技
支援員								保
校長								数
養護教諭								
図書館司書								国
ALT			学力向上支援			学力向上支援		
校内教育支援			スクールカウンセラー					

BLEND 配信の学校だよりをご覧ください

# 学校だより 「風の記憶」

一般的な校歌は、『〇〇学校校歌』といったものが多いのですが、本校の校歌は、「玉幡中学校校歌－風の記憶－」と校歌に、素敵なタイトルがついています。この校歌、風の記憶は、昭和60年（1985年）3月、今から40年前、篠崎淳之介先生（青森県出身、ラジオ・TVプロデューサー、劇作家、作詞家）が作詞、かいじ国体ファンファーレ作曲者でもある塩島麻美先生（甲府市出身、甲府一高、東京芸大卒、作曲家）が作曲をし、完成、制定されました。「多くの人々の努力と智慧、強い意志によって築かれてきた美しい自然と地域の発展を、玉幡中学校の生徒が受け継ぎ、その智慧と力を未来へとつなぎ、新しい時代を切り拓いていく」という願いが詞には込められています。校長が発行する学校だよりも、この「風の記憶」で出されておりますが、本年度も伝統ある、素敵な想いの込められた校歌、「風の記憶」のネーミングを継承することとします。どうぞよろしくお願いいたします。

「玉幡中ホームページへ」 <https://www.city-kai.ed.jp/rtchu/>

